

飯伊 産業経済動向

No.471 2018/6
(30. 7. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	2,907	枚	△	26.5 %	△	22.6 %
	金額	4,598,402	千円	△	13.3 %	△	10.2 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	9	件	(前月 5 件)		(前年同月 9 件)	
	飯伊	0	件	(前月 2 件)		(前年同月 0 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(5月)		62	戸	△	12.7 %		19.2 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(5月)		1.51	倍	(前月 1.51 倍)		(前年同月 1.43 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	2,189	台		15.5 %	△	13.3 %
	中古車	737	台		23.5 %		10.2 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (5月)	新車	3,436	台	△	2.9 %	△	4.6 %
	中古車	1,155	台	△	32.0 %	△	0.5 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	110,779	台	△	6.0 %	△	2.0 %
	出	111,473	台	△	6.1 %	△	1.0 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	76,719	台	△	2.4 %		0.3 %
	出	73,953	台	△	2.3 %	△	1.6 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	16,153	台	△	17.5 %		56.5 %
	出	16,423	台	△	19.0 %		54.3 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	37,664	台	△	13.7 %	△	0.3 %
	出	37,541	台	△	14.3 %	△	0.9 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		149	件	△	18.6 %	△	6.9 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		40	件	(前月 9 件)		(前年同月 3 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	24,093	人	△	12.9 %		0.5 %
	飯田～名古屋	16,062	人	△	11.9 %		1.1 %
	飯田～長野	9,753	人	△	3.0 %	△	1.6 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,357	人		6.8 %	△	6.8 %
	右回り	3,616	人		4.8 %	△	2.5 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



100%植物性インキ
[リチウム]100%を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

6月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス3.7で、前月から3.4ポイント下降。翌月予測もマイナス3.7で、前月から11.1ポイント下降している。

電気、精密機械器具の売上の前月比は、横ばい～やや増加、景況感が好転した業者も見られた。半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、やや減少～概ね横ばい。産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、減少～横ばいとの声が多い。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比ともやや減少も、景況感の悪化には至らないとの声。小型電磁機器の販売は、前月比横ばい。景況感に動きは見られない。一部に前年比がやや減少との声も。FA関連モーターの販売は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声が寄せられた。光学機器の受注は、前月比横ばい、前年比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声。電気、電子製品の受注は、前月比やや減少も、販売は前月より増加していることもあって、景況感も良好との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比概ね横ばい。前年比は、「順調な受注で増加」「新規導入があった。微増」などの声が多い。もっとも「全般に菓子は低調との声が多い」など、景況感の好転には至っていないとの声が多い。水引製品の販売は、前月比やや減少も、景況感の悪化には至っていない。漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声が聞かれた。

建設業

6月の建設業の景況DIは、マイナス21.4で、前月から3.6ポイント上昇。翌月予測DIも、0.0で、前月から12.5ポイント上昇した。

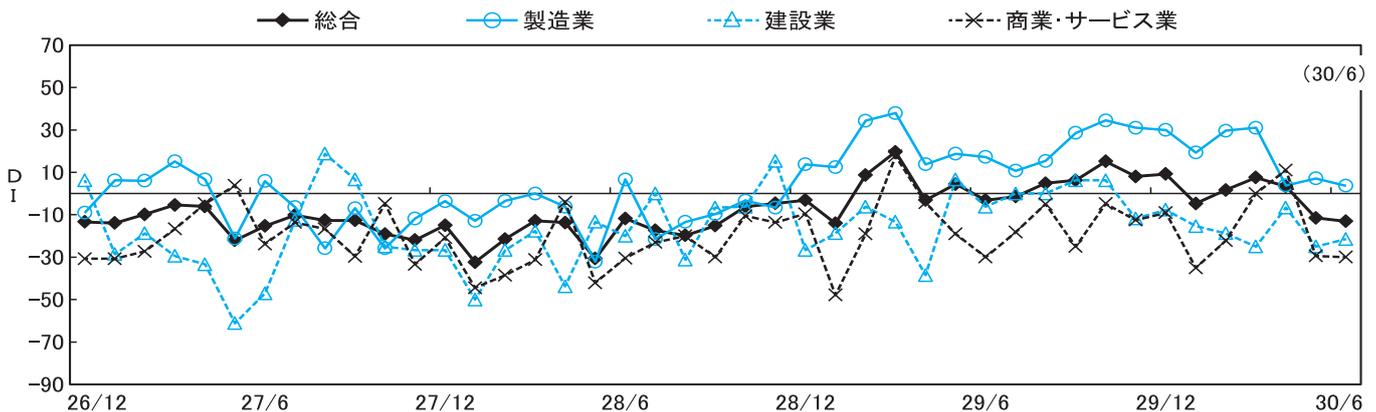
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約6.3億円で、前月比は27%減少、前年比も38%減少している(7月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に「仕事はある」などやや増加との声も聞かれるが、減少～横ばいとの声が多い。

当地区の5月の住宅着工戸数は62戸。前月比13%減少も、前年比は19%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は横ばい～やや増加との声が多い。一部に前年比増加との声も。「住宅は昨年を上回る契約数」などの声が聞かれ、一部に景況感が好転した業者も見られた。

商業・サービス業

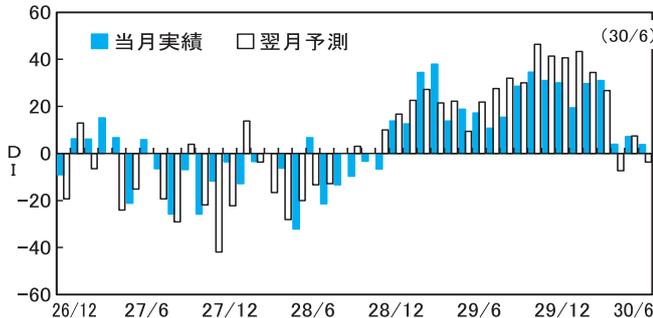
6月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス30.0と、前月より0.6ポイント下降。翌月予測DIは、マイナス10.5で、前月より14.5ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は、コンビニエンスストアなどではやや増加との声も聞かれたが、前月比、前年比ともやや減少との声が多く、景況感が悪化した業者も複数見られる。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加との声。電化製品の売上は、前月比やや増加も、前年比はやや減少との声が寄せられた。OA、事務機器の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声が寄せられたが、これは「各メーカーとも値上げの方向」にあることが主な理由で、景況の好転には至らないという。家事用品卸の売上は、前月比減少も、前年比は増加しており、景況感も好転との声。娯楽用品の売上は、「前月比は休日が少ない影響で若干のダウンだが、ほぼ前年並み」という。土産物の売上は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比16%増加も、前年比は13%減少。5月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比3%減少、前年比も5%減少。自動車販売、整備の売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや減少との声が寄せられた。市内料理店の売上は、前年比やや減少。市内宿泊施設の売上は、前年比減少、景況感も悪化との声。昼神温泉の売上は、前年比減少。「景気が上昇する感じがしない」「予約が少ない」などの声。タクシーの売上は、前月比やや減少との声が聞かれた。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



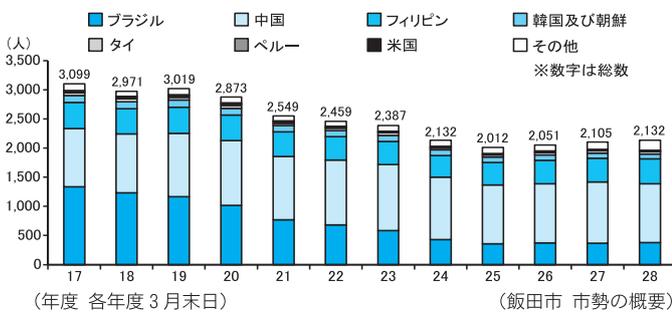
当月実績DI	3.7	(前月 7.1)
翌月予測DI	-3.7	(前月 7.4)

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス3.7で、前月から3.4ポイント下降。翌月予測もマイナス3.7で、前月から11.1ポイント下降している。

飯田市の在住外国人

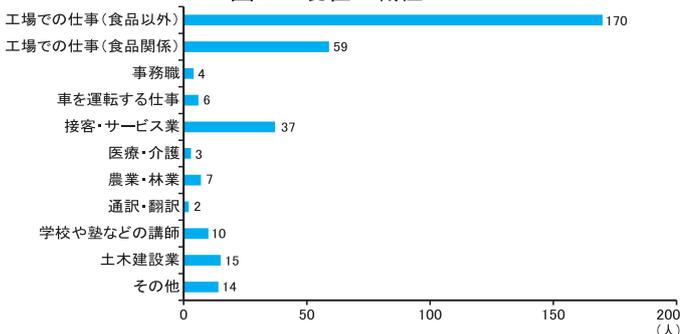
人手不足への対応などを目的として技能実習制度の外国人労働者の受入拡大に向けた検討が始まっているが、福元拓、蘭信三、蘭哲郎（2016 宮崎産業経営大学）『「グローカルシティ飯田」における『多文化共生』をめぐる現状と意識～外国人・日本人アンケート調査報告書』では、飯田市の外国人住民と日本人住民双方を対象とした、地域における定住に関する意識調査を行っている。この中から外国人に関する調査結果の一部をご紹介します。

図1 飯田市 国籍別外国人登録人口



飯田市の外国人登録人口をみると、総数は平成25年を底に若干回復している。平成28年3月末日の登録人口は2,132人で、同年3月1日の飯田市総人口の2.1%を占める。飯田市ではブラジル人、中国人、フィリピン人の登録人口が多いが、リーマンショックがあった平成20年以降、ブラジル人登録人口の減少が著しい。

図2 現在の職種



（「グローカルシティ飯田」における「多文化共生」をめぐる現状と意識～外国人・日本人アンケート調査報告書）

この間、中国人やフィリピン人の登録人口はさほど減少していない（図1）。

過去1年間に仕事をした飯田市在住外国人にその職種を聞いたところ、総じて製造業関連の仕事に従事する者が多いが、日本人に比べると特定の産業に集中している傾向があり、「外国人の就業先は飯田市で盛んな産業に特化しており、それ以外では彼ら・彼女らの存在は目立っていない」としている（図2）。

グラフにはないが本調査で1か月の収入を選択式で尋ねたところ、「月収の具体的な平均値を求めることは難しいが、10～15万円未満と15～20万円未満の中間が平均月収に該当すると言える」という。

そして、給料について満足しているか尋ねると、「やや不満」「非常に不満」で55.5%を占め、生活費は十分かどうか尋ねると、「どちらかといえば十分でない」「十分でない」で64.4%を占めている。

ところが、より良い雇用に伴う転居の意思を尋ねたところ、転居に消極的な回答が過半数を占め、こうしたことから移動するか否かは「労働環境よりも、家庭を取り巻く環境や生活環境が重視される傾向にある」としている（図3）。

この他に、本調査では外国人居住者の家族や同じ国の出身者との関係、地域活動や日本人住民との関係といったことも網羅的に調査している。そして、飯田市の生活に「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答が86%を占めており、「概して生活への満足度は高い」としている。

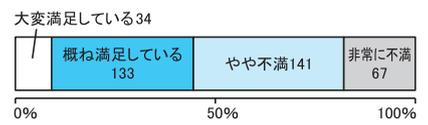
機械加工製造業

電気、精密機械器具の売上の前月比は、横ばい～やや増加、景況感が好転した業者も見られた。一部に先行きも上向きとの声が聞かれ、こうした業者では製品在庫も増加している様子。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかったという。雇用面は現状維持との声が多い。一部に設備面で積極的な声が聞かれた。

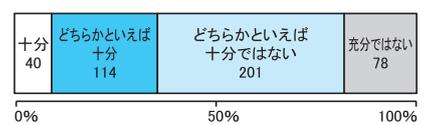
半導体、液晶製造装置向け部品の販売の前月比は、やや減少～概ね横ばい。「サーバー関連では、需要は拡大しているが、機種によりばらつきがある」「スマホ関連は通常生産に戻りつつある」「FPD関連では一服感がある」「仕掛在庫が減少傾向」などの声が行き、景況感も横ばいとする業者が多数を占める。先行きは、生産の減少を見込む声が少ない。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、「原材料や工具類の値上げを要求する声が増えてきた」という。雇用面では「複数名増員。経験者を募集している」などの声が行かれた一方、「現状で充足している。先行きも予定はない」といった声も。一部に設備面で積極的な声が行かれた。

産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、減少～横ばいとの声が多い。「5月が少々谷間で、6月に少し動きがあっ

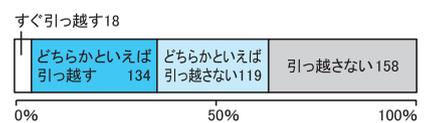
図3 給料について満足していますか



生活費は十分ですか



もし現在よりも条件のいい仕事があれば、そこへ引っ越しますか



（「グローカルシティ飯田」における「多文化共生」をめぐる現状と意識～外国人・日本人アンケート調査報告書）

た「弱いながらも好況と言える状況が続くのではない」「順調に動いているようだ」などの声の一方、「春先よりも仕事が落ち着いてきているとの声が増えた」「全体的には踊り場的な感じ」「少し落ち着いた感」「横ばいで動いている」「ロットが減少」などの声も寄せられ、総じて景況感は、一時に比べればやや後退している。こうした中、「短納期案件増えた。7月納期のものが集中している」「変動が大きく、納期が重なる場合が多い。こうした案件にいかに対応できるかが課題」など、短納期の案件の増加と、それに伴う納期の重複を伝える声が複数聞かれた。

原材料、資材価格は依然上昇基調にあるといい、「燃料代上昇」「メーカーによって値上げのタイミングにずれがある」「材料、工具等全般的に7月から値上げのことが多い」などの声。一方、製品価格に大きな動きはない様子で、「リピート品では特に、材料は上がっているのに、製品単価の上昇は厳しい」という。雇用面では、現状維持とする業者が多く、また「先行きは過剰感が出そう」といった声も聞かれる中で、一部に「現状やや不足。当分続きそう」との声も。設備面では、「導入済み。当面計画はない」「メンテナンス程度」など当面現状維持との声が多いが、「9月に予定」「検討中」「実施した。今後も予定」など先々積極的な声もある。

自動車向け部品の販売は、前月比、前年比ともやや減少も、景況感の悪化には至らないとの声。先行きも大きな動きは見込まれていないという。

小型電磁機器の販売は、前月比横ばい。景況感に動きは見られない。一部に前年比がやや減少との声も。先行き受注の増加を見込んでいるとの声も。原材料、資材価格が上昇基調にあるとの声。設備面で積極的な声も聞かれた。

FA関連モーターの販売は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声が寄せられた。「産業機械向け維持、車載向けが増加で推移している」という。原材料、資材価格が上昇傾向にある一方、製品価格は低下傾向にあり、こうした状態は続く見込みとの声が聞かれた。

光学機器の受注は、前月比横ばい、前年比やや増加も、景況感の好転には至らないとの声が寄せられた。先行きも大きな動きは見込まれていないという。原材料価格が上昇している様子。一部に設備面で積極的な声が聞かれた。

電気、電子製品の受注は、前月比やや減少も、販売は前月より増加していることもあって、景況感も良好との声が寄せられた。「今まで国内で生産しなかった大きな理由の一つに、中国に比べ金型が高価だったことがある。国内生産を検討する中で、安価で短納期に対応できる会社が見つかり、国内でのものづくりが見えてきた」との声が聞かれた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比概ね横ばい。前年比は、「順調な受注で増加」「新規導入があった。微増」などの声が多い。もっとも「全般に菓子は低調との声が多い」「菓子の消費はパッとしない様子」など、景況感の好転には至っていないとの声が多い。時節柄、先行きは生産の増加を見込む声が多い。「段ボール、運賃が値上がり。次は包材」「原材料費が上がるとの声が聞こえてきた」など、原材料、資材価格が上昇基調にあるとの声は少なくない。雇用面では現状維持の様子。設備面で積極的な声が複数聞かれた。

水引製品の販売は、前月比やや減少も、景況感の悪化には至っていない。「業況は前月と変わらない。運賃、段ボール等のコスト上昇が負担になっている」「年度当初から販売が落ち込んでいたが、仏事の注文が例年より多く、カバーできそう。正月飾りの注文も入ってきている。利益の減少はあるものの、今シーズ

ンの目途が立ちつつある」「値上げで利益をカバーしているが、数量の落ち込みを避けることができていない」などの声が聞かれた。「祝儀が減少している中、新しい技術者を養成するのに苦慮している」など、技術の伝承に不安があるとの声。「水引組合の新体制が本格的に動き出した。とかく暗いイメージもあるが、明るく発展することを願っている」「高齢化などもあり、水引組合の定例会に参加しない組合員が見られるようになってきた。組合の弱体化を危惧している」などの声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともやや減少との声。「露地もの野菜が出回り始めたためか、浅漬類の動きは鈍く感じる」「原料は安定する時期だが、売上は鈍い」などの声が聞かれた。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比やや減少、景況感も悪化との声が聞かれた。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比とも減少との声が聞かれた。「大物と言える仕事がスポット的に入ってこなかったのが要因」「同業も仕事が少ないと聞く。需要がどこまで落ち込むのか気になる」などの声が寄せられた。当月こそ原材料、資材価格に大きな動きはなかったものの、上昇基調にあるという。雇用面で「高齢化が今後問題となりそう。新卒者の採用を考えていきたい」との声。設備面で先行き積極的な声が聞かれた。

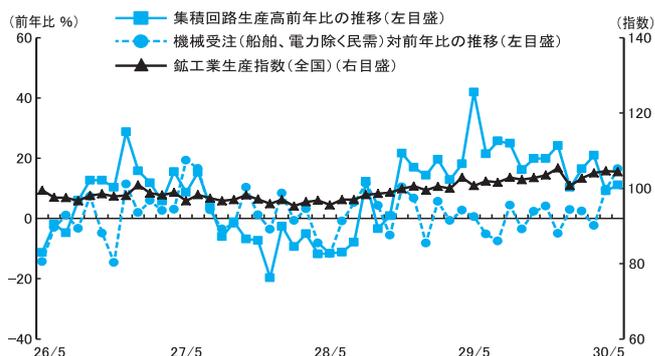
衣料品の販売は、前月比減少、前年比はやや増加との声が寄せられた。「セレクト系の売場、ネット販売は好調。百貨店は相変わらず低迷している。ファストファッションは冬物が不振で、日本での売上は相当落ち込んでいると聞く。やはり、消費者は単価の安いものにはあまり手を出さなくなったのではないか」「機能性素材の開発が進み、消費者が的を絞りにくくなっている感もある」などの声が聞かれた。「国内生産の受注が増えている」ものの、「中途採用でも入社希望者が少ない」といった事情もあって、「工場の生産能力が追い付いていない」という。「業界の目下の問題は『在庫』。生産でコストを下げて、最終上代が下がらずリーズナブルな価格設定ではないため、製品在庫が増加する」傾向があるという。依然、原材料価格は上昇基調にあるとの声が聞かれた。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器など家具の生産は、前月比概ね横ばい、前年比はやや増加との声が寄せられた。景況感に動きは見られない。先行きは弱含みという。

【企業からのコメント】

- ★ものづくり補助金が採択された。
- ★米中の貿易摩擦で先が見えない。
- ★コストダウンの要求が続いている。

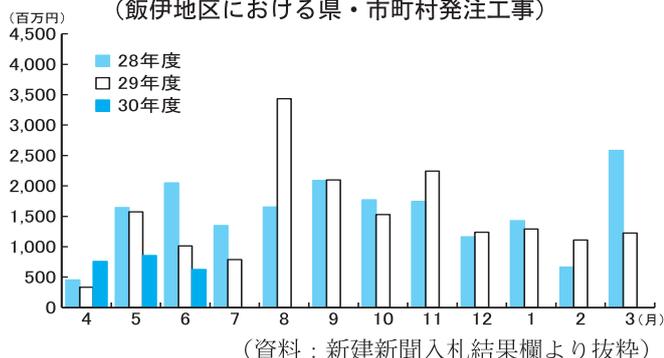
集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



建設業

月別入札額

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -21.4 (前月 -25.0)

翌月予測DI 0.0 (前月 -12.5)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約6.3億円で、前月比は27%減少、前年比も38%減少している(7月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、一部に「仕事はある」などやや増加との声も聞かれるが、減少～横ばいとの声が多い。景況感も、良好との声は一部に止まり、悪化～横ばいとの声が多い。「受注残は増えているが、これは未成工事の進捗が悪いため。相変わらず発注量は低迷」「発注件数は少ない。4～6月は受注が増えなかった。前年同期比で減少」「公共、民間とも発注が少ない。お盆過ぎから忙しくなるのでは、三遠南信自動車道やリニア関連工事もこれから発注になるのでは、といった声ばかりで、目下は全体的に暇」「新年度の発注のスピードが遅い」「追加受注の動きは鈍い」「官民とも小規模工事のみ。これらの積み重ねで維持したい」「早く発注してくれないと深刻な影響のある業者もあるのでは」などの声のほか、「工期が延長になった業務が増えている」との声が寄せられた。

こうした中、受注競争の激化を伝える声が多く、「入札30社以上ということもあるし、同札で30社以上のくじ引きということもある」「地元で県の大規模物件があるが、受注は不確定」「下伊那郡内では、県工事の地域要件の恩恵でそこそこ受注があるとの声も聞くが、市内のBランク以下の業者では受注にありつけないケースが多い模様」などの声も寄せられた。

「燃料費上昇」「各種資材単価上昇」など「資材関係は次々と値上げ」といい、それに伴い「利益は減少傾向」「材料費は全額前払い、40%前払いが多く、仕事の増加量にもよるが、資金繰りが厳しくなりそう」などの声も寄せられた。

雇用面で、一部に「不足。増員予定」との声が聞かれたほか、募集を続けているとの声も多い。

民需

当地区の5月の住宅着工戸数は62戸。前月比13%減少も、前年比は19%増加している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は横ばい～やや増加との声が多い。一部に前年比増加との声も。「倉庫新築」「住宅は昨年を上回る契約数」などの声も

聞かれ、一部に景況感が好転した業者も見られた。

資材価格が上昇基調にあるとの声。雇用面で、不足感が当面続きそうとの声が寄せられた。

飯田市の在住外国人の居住形態

福元拓、蘭信三、蘭哲郎(2016 宮崎産業経営大学)「『グローバルシティ飯田』における『多文化共生』をめぐる現状と意識～外国人・日本人アンケート調査報告書」では、飯田市の在住外国人の住居の形態を調査している。これによると、「日本人住民より割合は小さいとはいえ、相当数が持家に居住している」という。また、韓国・朝鮮やフィリピンでは持家が多く、中国では市営、県営住宅が、ブラジルについては民間の賃貸住宅が多い傾向があるという。

飯田市在住外国人の居住形態



(「グローバルシティ飯田」における「多文化共生」をめぐる現状と意識～外国人・日本人アンケート調査報告書)

建設資材

塗料等の建設資材の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声も寄せられた。「夏～秋にかけて繁忙期。昨年並みは見込めるのでは」などの声も寄せられ、先行きも上向きという。仕入価格が上昇。今後も当分続く見込みという。

生コンの売上は、前年比増加。前月比は、「河川改修工事の打設が終わった」こともあって減少との声も聞かれたが、こうした業者でも「砂防ダムや堰堤工事が始まり後は出荷量がありそう」との声も聞かれたほか、やや増加との声も多く、「主な出荷は、浄水場工事、リニア関連工事、特養、病院、公民館やビジネスホテルの建築工事、三遠南信自動車道関連工事、砂防工事、林道改良工事に関わるもの。JR発注のリニア関連工事は前月より減少」などの声も寄せられた。

骨材の売上は、前月比減少～概ね横ばい。前年比は業者により増減分かれる。「全体的に動きが少ない月だった。当地区北部で一部に動きがあるが、それ以外は目立った動きはなかったように思う」などの声も寄せられた。先行き弱含みとの声も。一部に在庫を積み増している業者も見られた。雇用面で積極的な声も聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★地元の業者は大手の下請けに徹している。
- ★どこかのタイミングで増員したい。
- ★発注量の増加と平準化を望んでいる。

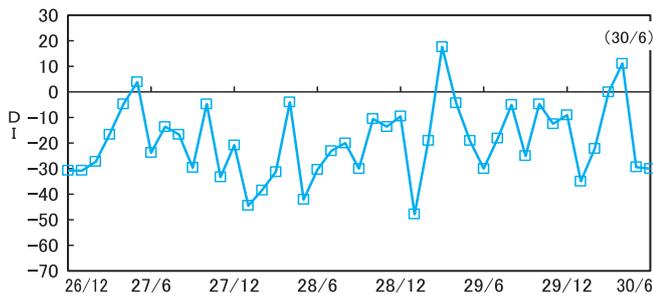
住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

6月	〇飯田建設事務所分
新築	7件 (前年 25件)
増築	4件 (前年 4件)
〇飯田市役所分	
新築	16件 (前年 21件)
増築	1件 (前年 4件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI	-30.0 (先月 -29.4)
翌月予測DI	-10.5 (先月 -25.0)

商業

食品の売上の前月比は、コンビニエンスストアなどではやや増加との声も聞かれたが、前月比、前年比ともやや減少との声が多く、景況感が悪化した業者も複数見られる。「お客様の回転が悪くなった。広告した特売だけ回転している」「店舗の改装休業もあったが、食材値上げで買い控えがあるのかもしれない」「スーパーの3～5月の売上は、全国的に前年割れという。6月に入って減少がやや落ち着いてきた」「地元の福祉施設の給食に関するシステムが変更された。売上に影響がありそう」となどの声。雇用面で「お盆商戦のアルバイト確保」「不足。同業でも人手不足で管理が行き届かず、苦しいとの声も聞く」となどの声も聞かれた。

【青果卸売市場】

売上は前月比、前年比ともやや減少という。野菜は、「価格は前月に比べれば3%高だが、前年比では全体に低迷が続いている。特に馬鈴薯が43%、玉ねぎ19%、白菜、人参も15%安で、全体では入荷量3%減で、価格も6%安だった」という。果実は、「昨年出荷遅れが続いた果実は、桃、すももともに一昨年並みの入荷量。天候に恵まれ味も良く、順調な販売となった。果実全体では入荷量7%増、価格は2%高であった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加、先行きも増加を見込んでいるという。仕入や販売の価格に大きな動きはなかったという。

電化製品の売上は、前月比やや増加も、前年比はやや減少との声。「早期の梅雨明け、気温上昇、好天でエアコンなど季節商品の売上は好調。家庭向け、企業向け、規模の大小問わず出荷が伸びている」という。

OA、事務機器の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声も寄せられたが、これは「各メーカーとも値上げの方向」にあることが主な理由で、「例年のことだが、夏に向けての閑散期。対策が大きな課題」など、景況の好転には至らないとの声も寄せられた。雇用面で「減員。募集中だが厳しい」との声も聞かれた。

家事用品卸の売上は、前月比減少も、前年比は増加しており、景況感も好転との声。「夏物の配荷が5月中に終わっているが、追加注文はまだこない。もう少し夏らしくなれば花火などの販売も見込まれる」という。

娯楽用品の売上は、「前月比は休日が少なかった影響で若干のダウンだが、ほぼ前年並み」との声。先行きはやや増加を見込んでいるという。

土産物の売上は、前月比やや減少、景況感も悪化との声。先行きは販売増加が見込まれている。仕入価格の上昇が続いている様子。

自動車販売、松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比16%増加も、前年比は13%減少。中古車は、前月比24%増加、前年比も10%増加した。5月の県全体の軽自動車新規登録台数は、

新車は、前月比3%減少、前年比も5%減少。中古車は、前月比32%減少、前年比は0.5%の微減。

自動車販売、整備の売上は、前月比概ね横ばい、前年比はやや減少、「消費動向は相変わらず活発になっていないと思われる。皆が飛びつくようなヒット商品が欲しいところ」との声が寄せられた。中古車の販売に関し、「台当り利益はほぼ変わらなかった。台数も、前月比プラス6%も前年比同数」という。二輪車の販売について、「他業界から、二輪への関心アップについての提案があり、少しずつでも協力していきたい。反面、肝心のメーカーは、今や地方販売店に協力する体制にないと思う。二輪生産では世界一の日本だが、国民への素晴らしさのアピールは30年前に起きた三ナイ運動に届したまま復活の気配がない」との声が聞かれた。

サービス業

市内料理店の売上は、前年比やや減少。「6月に入ってガクッとダウン。理由が分からない」「夏場は例年落ち込むが、今年は特に悪い感。間近になってからの予約が多く、先が読みづらい。後数か月辛抱が続く」「半期が終わり、同期比で前年並み。4月まで好調だったが、5、6月の悪化が影響している」「個人、少人数の需要は比較的良いが、肝心の団体が少し少ない。クオリティを下げず、いかに収益を上げていくかが問われている」「鮮魚が上がってきた。価格構成を少し動かしている」となどの声も聞かれた。

市内宿泊施設の売上は、前年比減少、景況感も悪化との声。雇用面では格段不足感はないという。

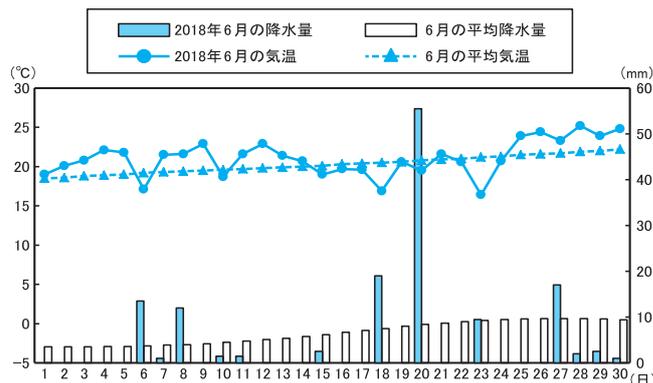
昼神温泉の売上は、前年比減少。「景気が上昇する感じがしない」「予約が少ない」「昨年より悪かった。ナイトツアー休業中で、代わりに企画を行った。6月は例年悪いので、その対応としても企画を立てて集客につなげていきたい」となどの声も聞かれた。仕入価格や雇用面で、「小麦粉、燃料、飲み物、ネギ等様々なものが値上がり。一方料金は動かさない」「スタッフの平均年齢の上昇も気掛かり」といった声も寄せられた。

タクシーの売上は、前月比やや減少、「夜間の利用は厳しい状況」との声も寄せられた。「LPGが上昇傾向」という。「従業員の高齢化、退職者の増加に見合う新規従業員が確保できていない。各社労働力の確保が大きな課題」との声も聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★仕入の上昇が続いている。
- ★良い人材を育て充実させていくことが重要。
- ★リニア向けの案件も、少しずつだが出てきている。今後に期待。
- ★段階的にオフィスをリニューアルする予定。
- ★事業存続のために具体的な行動を起こす事業者もあろう。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目(24) 諫言太夫(かんげんだゆう)

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

昔中国の戦国時代の頃の話であるが、優秀な君主には必ず諫言太夫がいたと謂われる。

諫言太夫とは何者なのか、どの様な役目なのか？ものの本によれば、諫言とはTOPに苦言、直言、言いくい事、上司の嫌がる耳の痛い事等、私情を挟まず冷静に的確に忠告、諫める事とある。

中でも特に有名なのが魏徴であり、唐の最大の功労者第二代皇帝太宗帝を二百回以上も諫めたといわれている。権力者に批判めいたことを偉そうに言えば即首が飛ぶ時代に、そのような人が存在し得たのは驚くべきことである。

日本の戦国時代にも優秀な軍師と呼ばれる人間は豊臣秀吉の黒田官兵衛や竹中半兵衛、武田信玄の山本勘助、上杉景勝の直江兼継等数多く存在したが、それぞれの主君に対して戦略、戦術は当然のこととして諫言までできた軍師はいたのであろうか。

TOPと軍師がお互いに信頼し合い尊敬し合っていないければ、このような関係は絶対に成り立たない難しいことだと思う。

小学校や中学校、高校や大学といろいろ感銘を与えてくれた教師、恩師は沢山いたことと思う。社会に出て働くようになり、それも新入社員ペーパーの若い内は上司も何かと面倒を見てくれ忠告もしてくれただろう。ところが段々と役職が上がるにつれ、社内だけではなく、外部の客先、取引先や仕入先の人間も耳の痛いことは殆んど言ってくれなくなってくる。

主任や係長クラスなら社長や部課長ならばいろいろと言うだろうが、管理職にもなるとよっぽどのことが無い限り己の行動に対しては何も言ってくれなくなる。

業務上の命令そして知識、技能や情報といったことを教えてくれることは当然あるが、人生の知恵や生き方に対するアドバイス、ましてや己の行動、言動に対しての評価等は皆無ではないか。

部長、そして役員ともなれば直接本人に耳の痛いことは絶対に言ってくれないし、情報すらも滞りがちになるのが一般的である。

まして組織のTOP社長に対し、いくら会社のためといっても部下が自分の立場を危うくする諫言などするはずがない。誰もが自分自身が可愛いし自分の家族、生活もあるのだから。

良いことや社長が喜ぶ話なら誰もがすぐ持っていきが、社長が暗くなる話や批判的に聞こえる話は中々持っていけないし、たとえ持って行ったとしても内容を和らげて持っていきのが、ごく当たり前の話だ。

ところが世の中には、部下が自分に何も言っていないのは問題が何も無いからだと思込む社長もいる。美味しく甘い報告を当たり前と思い、辛い酸っぱい話を聞くと怒り出す社長や上司もいる。そうなるとう度どころではなく誰も部下は報告しなくなり裸の王様になってしまう。

人間は一般的に他人に厳しく自分に優しい傾向があり物事を自分に都合よく解釈するものだ、まさか自分が裸の王様とはどこの社長も気付かないし、思いたくもないだろう。

誰も裸の王様になりたいはずもない、ましてや俺は裸の王様だと自分で気が付く社長はもともと裸の王様にはならない。

人の振り見て我が振り直せと言う諺がある。

人の話をまるで聞かない社長がいるが、どんな人の話からでも必ず何らかの役に立つはずだ。どんな人の話も受け取り方次第で役に立つようになる。例えばその話を良い見本、悪い見本と考えればよいのだ。他人の話を謙虚に聞く姿勢そのものが裸の王様からの脱却する道ではないか。

知識や情報を教えてくれるのは Teacher (先生) という、それに対して

生きる勇気や人生の知恵を授けてくれる師匠のことを Mentor (メンター) という

いつの時代もどのような立場になっても Teacher にはいろいろとその筋の専門家がいて、授業料さえ払って勉強しようと思えば幾らでも教を乞うことはできる。

ところが、Mentor となるとそう簡単にはお目にかかることができない。教養講座や人生の講話とかの講座は様々あるが、それらを受講したからといってすぐに自分自身が変わるわけでもないし、講師が個別の相談相手になって的確なサジェスションをしてくれる訳でもない。

お互いに信頼し合い尊敬できる人生の師を見つけるのは埋蔵金を捜す以上に大変困難なものである。

良い Mentor に巡り合わない嘆く前に、謙虚な姿勢で部下や他人の話を聞くことから始めてみれば世の中不可思議なもので必ず良い師匠と巡り合えるものだ、そう信じて行動することが大事ではないか。

自分にとっての Mentor、諫言太夫をどう見つけるかはその人の生き方、考え方で決まるような気がするが、如何なものだろうか。

生涯で三人の Mentor (師) と巡り合うことができれば非常に幸せな、有意義な人生であると言われる。

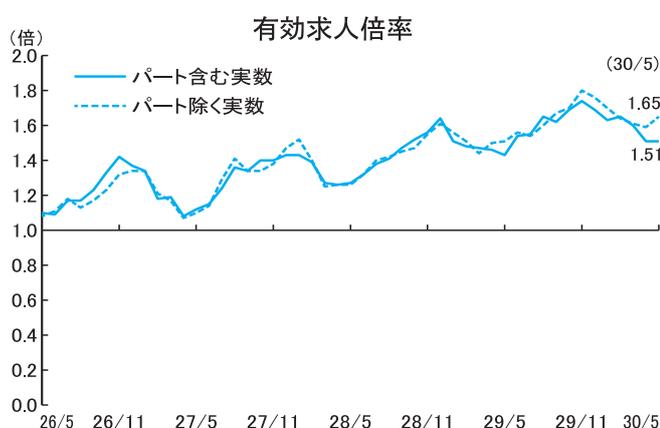
さて貴方にとっての大事な Mentor とは？

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

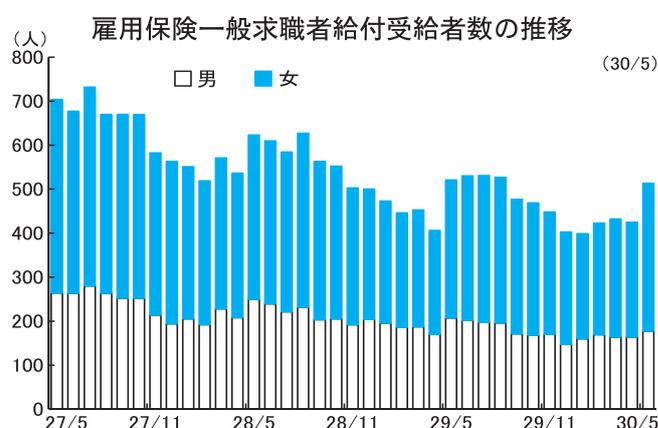
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課 (飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132) まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



5月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.51倍と、前月から横ばい。パートを除く実数は1.65倍で、前月から0.06ポイント上昇している。



5月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は13人増加、女性も75人増加しており、全体では513人と前月から88人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)

リニア時代を迎える飯伊地域の資源（2）

JR飯田線（2）

リニア長野県駅周辺整備事業としてJR飯田線に乗換新駅を設置することが検討されている。JR飯田線の特集2回目として、新幹線の開通と乗換新駅との関連について考えてみたい。乗換駅設置による効果について北陸新幹線の事例をみることにする。



乗換新駅設置予定地付近（上郷北条・座光寺地区境）
公表されている駅設置予定地を写真上に表示
（リニア対策課撮影）

1. 北陸新幹線が開通して在来線は

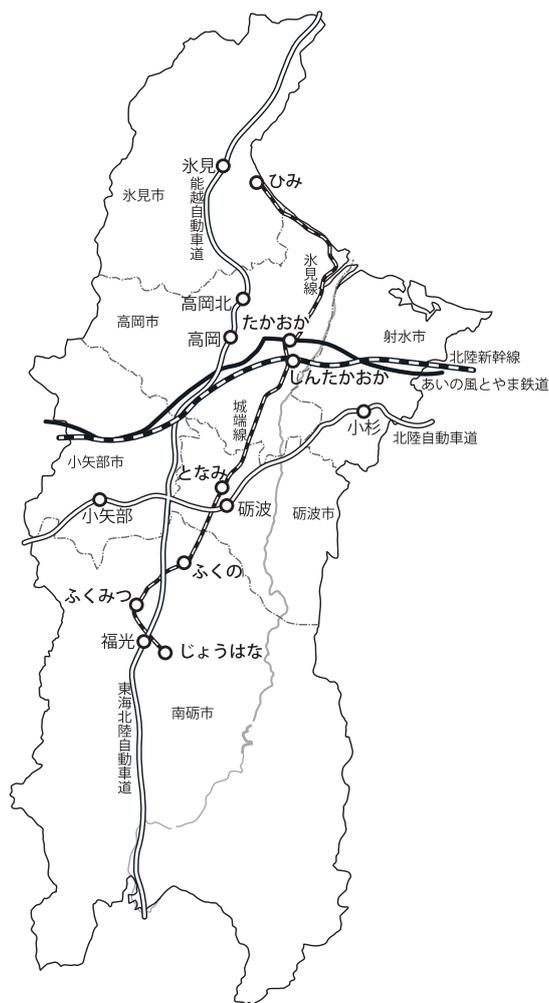
北陸新幹線の高岡市では、新幹線駅が北陸本線（新幹線開通後は第3セクターあいの風とやま鉄道線）高岡駅から離れた郊外（市街中心部から約1.5km、高岡・新高岡間の営業キロは1.8km）に設置されることとなったことから、地元要望により城端線（高岡駅～城端駅）に新駅が設置された。城端線乗換新駅の駅名も「新高岡駅」となっている。

右図の通り、城端線は新幹線と直交する路線であり、同じく高岡駅から出ている氷見線と併せ富山県呉西地区において鉄道の十字路を成している。城端線と氷見線は高岡駅のホームの構造からスルー運転はできないこととなっているが、唯一観光列車の「ベル・モンターニュ・エ・メール」（愛称：べるもんた）が両路線を跨ぎ、新高岡駅～氷見駅間を運行されている。

城端線および氷見線の利用状況（高岡駅を除く）は次頁の高岡市他3市「城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画」（以下「計画書」）の表の通りである。北陸新幹線開業までは、定期外乗車（普通乗車券乗車）の減少が続いたが、平成21年からは定期券乗車が増加に転じ、全体として増加傾向を見せていた。

平成26年度からは、27年3月14日北陸新幹線の開業とともに城端線新高岡駅も供用となり、当該年度18日分の北陸新幹線・城端線新高岡駅の平均乗車人数が上乗せとなっている。26年度の新高岡駅1日当り利用者が1,929人（定期290人、定期外1,689人）、27年度同が1,988人（内訳不明、「高岡市統計書」）であることから、

富山県呉西地区の交通体系



呉西地区：高岡市、射水市、氷見市
砺波市、小矢部市、砥南市

高岡駅・新高岡駅を除く城端線の利用者数は、総利用者で26年度5,173人、27年度4,174人と計算される。26年度が新幹線開通直後の18日間の結果であることを考慮すると27年度の数字が「実力」に近いとみられるが、高岡駅と新高岡駅を除く城端線各駅の総乗車人員には大きな変化が見られないことになる。「計画書」の利用状況の項では、城端線の駅別で砺波駅他3駅が26年度に対し27年度で増加している。高岡駅と新高岡駅間の利用状況が窺えないことから、ビジネスや瑞龍寺をはじめとする市内観光などでの動きをみることはできない。

他方で氷見線では、長期低落傾向にあった定期外乗車が27年度の1日当り乗車数で前年度比

37人増の458人となった。定期外乗車は年換算で13千人を上回る増加となり、総乗車人員でも「過去10年間で最も多い3,086人となった」（「計画書」）。27年度に前述の観光列車「べるもんた」の運用が開始されたことと考え併せると、新幹線と連動した誘客効果は氷見線の方に表れたという仮説を立てることができるかもしれない。

2. 飯田線を考えると…

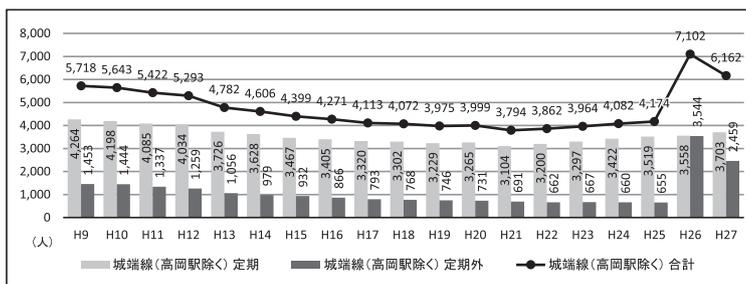
以上の限られた資料により結論付けるのは早計と思われるが、乗換新駅を設置しても飯田線の各駅において自動的に利用者数が増加する、とはならない恐れがある。その駅で乗降する明確な理由が必要になるだろう。

その中で観光は重要な要素となってくる。前述の氷見線の例では、新幹線新高岡駅から城端線の方面より氷見線の方面に呉西地区の観光スポットが点在しているため、氷見線の方に観光によると見られる新幹線開通効果が窺われる。飯田線の場合も、乗換新駅から北方面・南方面それぞれどのようになっているか考える必要がある。

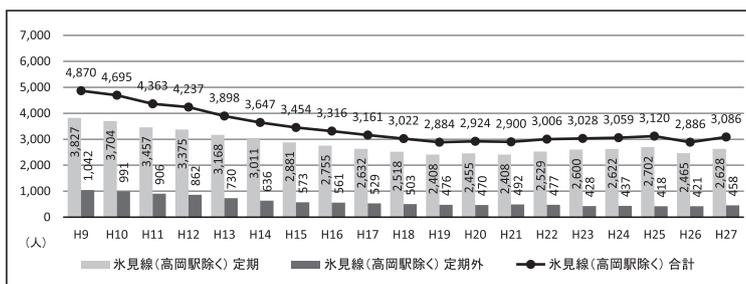
また、観光列車など乗換新駅から観光スポットを結ぶ「特別な装置」も必要かもしれない。乗換新駅での特急伊那路の接続や、天竜峡から秘境駅までを案内する観光列車、駒ヶ岳ロープウェイや高遠など上伊那観光へ向けた列車などが考えられる。

「今どき鉄道は不要」という向きもあるかも知れないが、高齢化や多様化するインバウンドへの対応をはじめとした観光資源としての鉄道（乗換新駅の設置）は必要といえるのではないかと。

城端線の1日当り乗車人員



氷見線の1日当り乗車人員



高岡市・氷見市・砺波市・砥南市
「城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画」H29年3月 34頁



北陸新幹線から城端線新高岡駅へ移動する外国人観光客
(リアア対策課撮影)

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成24年	519	△ 6.8	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
29	657	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1
平成29.4	32	△ 13.5	24,732	△ 1.9	17,300	15.6	9,870	△ 0.9
5	52	15.6	28,602	1.2	18,241	7.7	10,568	2.0
6	57	△ 10.9	23,964	6.1	15,883	6.9	9,907	0.1
7	53	△ 8.6	26,791	1.0	18,332	4.1	9,876	△ 1.0
8	69	△ 1.4	36,781	1.8	22,583	1.8	10,346	0.7
9	84	7.7	27,166	0.7	18,546	6.5	9,448	0.7
10	63	23.5	26,902	△ 4.1	18,323	△ 1.9	10,081	△ 1.9
11	80	60.0	25,790	0.8	18,215	3.4	9,454	1.8
12	48	△ 4.0	28,270	0.1	17,973	△ 0.6	8,761	1.8
平成30.1	52	△ 7.1	25,548	△ 3.5	17,511	2.6	8,370	△ 2.3
2	54	28.6	22,162	△ 1.3	16,857	1.5	8,467	△ 1.9
3	46	△ 33.3	29,392	△ 1.8	20,443	3.9	10,045	△ 1.4
4	71	121.9	25,759	4.2	17,961	3.8	9,472	△ 4.0
5	62	19.2	27,676	△ 3.2	18,240	0.0	10,058	△ 4.8
6	—	—	24,093	0.5	16,062	1.1	9,753	△ 1.6
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成24年	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—
平成29.4	1,878	△ 5.7	717	2.4	1.54	1.57
5	1,928	△ 8.4	563	△ 3.9	1.56	1.62
6	2,524	1.6	669	△ 13.1	1.58	1.54
7	2,179	4.8	630	10.9	1.61	1.55
8	1,708	0.6	560	1.6	1.62	1.50
9	2,639	2.9	608	1.8	1.64	1.49
10	1,940	△ 10.7	594	△ 6.3	1.65	1.50
11	2,083	0.4	527	△ 2.0	1.67	1.44
12	1,999	△ 4.0	593	6.3	1.67	1.73
平成30.1	1,904	△ 5.4	422	9.0	1.70	1.55
2	2,356	△ 3.5	530	△ 2.2	1.65	1.79
3	3,854	△ 4.1	811	△ 8.3	1.70	1.75
4	1,898	1.1	628	△ 12.4	1.69	1.70
5	1,896	△ 1.7	597	6.0	1.70	—
6	2,189	△ 13.3	737	10.2	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成24年	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
平成29.4	3,188	3,500,980	10	3	127	△ 3.8
5	4,310	5,306,503	9	0	122	△ 11.6
6	3,757	5,119,941	9	0	160	1.3
7	3,702	4,130,157	7	0	148	△ 18.7
8	3,658	4,763,709	5	0	167	12.1
9	3,123	4,551,456	6	1	179	1.7
10	4,055	4,483,553	7	1	142	△ 3.4
11	3,500	4,344,046	4	0	142	△ 14.5
12	3,536	4,547,597	6	0	186	△ 9.7
平成30.1	3,893	5,249,904	8	1	134	15.5
2	3,528	4,262,385	8	0	159	0.0
3	3,186	4,515,904	11	3	207	△ 22.2
4	3,338	4,505,883	5	1	121	△ 4.7
5	3,955	5,306,227	5	2	183	50.0
6	2,907	4,598,402	9	0	149	△ 6.9
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成24年	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4
平成29.4	222,552	1.3	145,101	4.7	35,626	△ 8.0	83,199	△ 1.1
5	239,594	2.5	156,788	4.8	45,911	32.4	95,068	7.0
6	225,614	2.4	151,622	4.4	20,961	7.7	75,668	2.0
7	238,975	0.7	161,110	3.4	28,150	△ 2.7	86,946	△ 0.6
8	257,394	0.0	173,967	3.2	40,285	△ 1.7	114,513	2.2
9	232,110	1.2	163,879	3.6	30,041	5.8	88,346	5.4
10	238,349	△ 3.6	169,371	△ 1.6	29,164	△ 21.3	89,392	△ 8.6
11	244,783	1.1	183,681	1.5	33,614	2.6	95,565	1.5
12	227,227	△ 0.6	155,629	0.1	24,546	△ 0.1	76,161	△ 1.5
平成30.1	206,724	0.4	134,680	3.5	26,534	△ 1.8	67,166	△ 2.2
2	194,834	1.7	128,291	3.6	25,793	1.7	63,376	△ 1.9
3	234,949	△ 0.1	152,182	1.5	28,439	3.2	79,385	△ 1.5
4	225,070	1.1	145,746	0.4	57,529	61.5	91,847	10.4
5	236,646	△ 1.2	154,355	△ 1.6	39,871	△ 13.2	87,439	△ 8.0
6	222,252	△ 1.5	150,672	△ 0.6	32,576	55.4	75,205	△ 0.6
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							